2026年10月27日
株式会社本間ゴルフ

ゼロトルクだけじゃない。ゼロトルク×ゼロロフト。『ZEROPT』誕生

フェース向きと打ち出し、2つのブレを構造で抑える。
HONMAが提案する「2つのゼロ」のパター。



来年創立70周年を迎える、株式会社本間ゴルフ（本社：東京都港区）は、ゼロトルクとゼロロフトという2つの設計を組み合わせた新パター『ZEROPT（ゼロピーティー）』を、2026年11月6日（金）より全国の直営店舗、直営オンラインショップおよび製品取扱店にて順次発売いたします。

2025年、パター市場では「ゼロトルク」が急速に普及し、主要メーカーの参入が相次ぎました。いま求められているのは、ゼロトルクという名称そのものではなく、どのような設計思想でパッティング性能を高めるかという“中身”です。出典：矢野経済研究所「2026年版 ゴルフ産業白書」

当社は以前から、シャフト軸と重心の関係を構造から見直し、ストローク中のフェース向きを安定させるゼロトルクの開発構想を進めてきました。『ZEROPT』では、そこにロフト0度の「ゼロロフト」を組み合わせています。ゼロトルクでフェース向きのブレを抑え、ゼロロフトでロフト起因の打ち出しのばらつきを抑制。方向性を左右する2つの要素に、それぞれ異なる設計からアプローチしました。

さらに、ヘッド後方に装着したシャフトの傾斜を補正するOff-Axis Gripを採用。特殊な構造でありながら自然に構えやすく、通常のパターに近い感覚で握れる設計としています。

ゼロトルクだけではない。「ゼロトルク × ゼロロフト」という2つのゼロ。
その設計思想と実際の感覚を、ぜひ店頭でお試しください。

「2つのゼロ」でフェース向きと打ち出しのブレを抑える。

01 ゼロトルク｜フェース向きのブレを抑える

シャフト軸と重心を一致させることで、ストローク中のフェース回転を抑制。フェースがスクエアを保ちやすく、狙った方向へ打ち出しやすい設計です。

02 ゼロロフト｜打ち出しのブレを抑える

ロフトを0度にすることで、ロフトがあることによる構えづらさを排除し、打ち出し角のばらつきを抑制。ストレートな転がりと再現性を追求しました。

03 Off-Axis Grip｜自然な構えと握りをサポート

ヘッド後方に装着したシャフトの2～3度の傾斜を補正。特殊構造でも自然に垂直グリップしやすく、通常の握り心地で使えるようサポートします。



ZEROPT-001
ツノ型



ZEROPT-002
ネオマレット型



ZEROPT-003
ネオマレット型

スペック

モデル	ZEROPT-001	ZEROPT-002	ZEROPT-003
形状	ツノ型	ネオマレット型	ネオマレット型
ヘッド素材｜製法	SUS303ボディ＋6061アルミニウムソール＋タングステンウエイト20g（ヒール）＋アルミニウムウエイト4g（トゥ）＋SUSネジ｜CNC加工		
ヘッド仕上げ	IP（ボディ）、アルマイト（ソール）		
ロフト角(°)	0		
ライ角(°)	69.5		
長さ(インチ)	33 / 34		
総重量(g)	約525		
シャフト	SS PUTTER SHAFT-S STEPLESS ＃P COMS		
グリップ	TLT Off-Axis Putter Grip		
税込価格	¥88,000		

日本製

【お客様からのお問合せ先】
TEL：0120-941-380（受付時間/10時～17時　土日祝休）
E-mail：info@honmagolf-ec.com